



毎日、発明する会社

2024年4月期

通期決算説明資料

フリービット株式会社

2024年6月14日

1. 2024年4月期 通期連結業績	3
2. 2024年4月期 通期セグメント別業績	15
3. 2025年4月期 通期連結業績予想	30
4. Appendix	34

1. 2024年4月期 通期連結業績

連結子会社（ギガプライズ社及びその子会社）決算期変更に係る影響

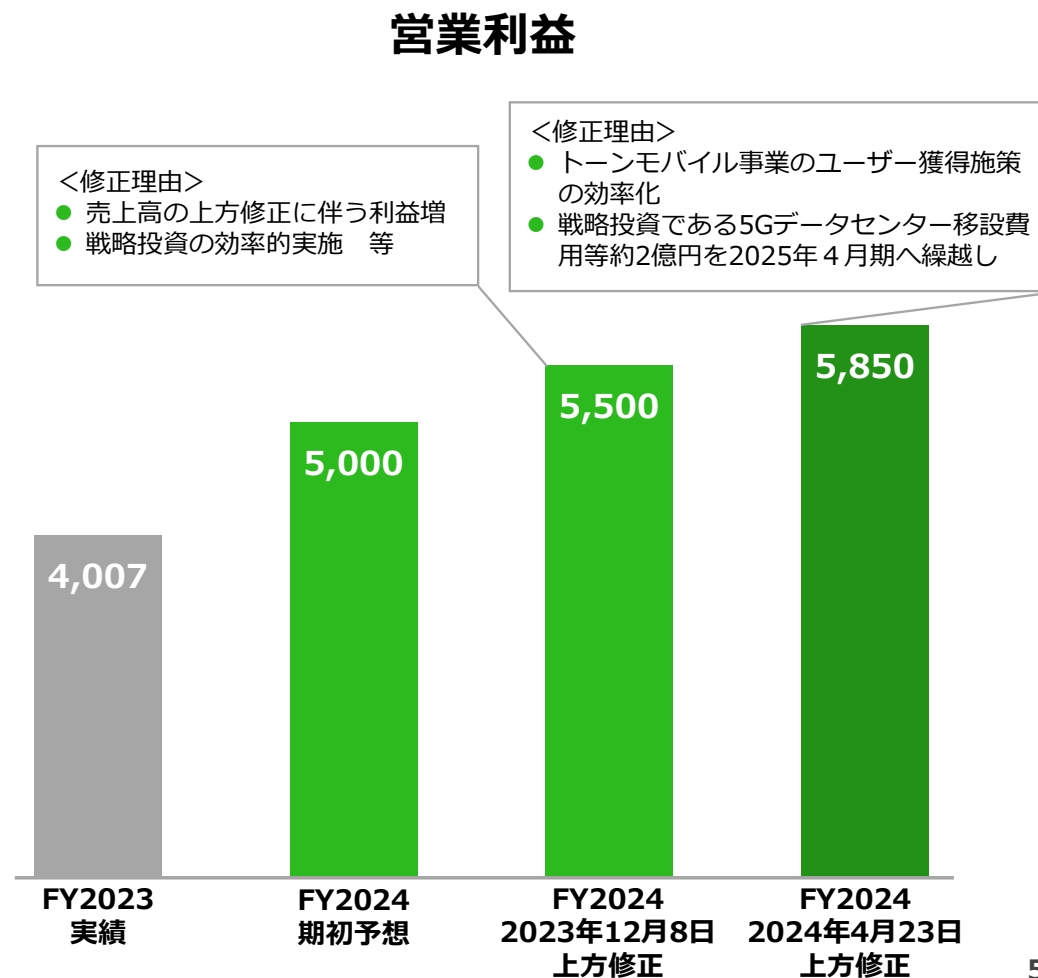
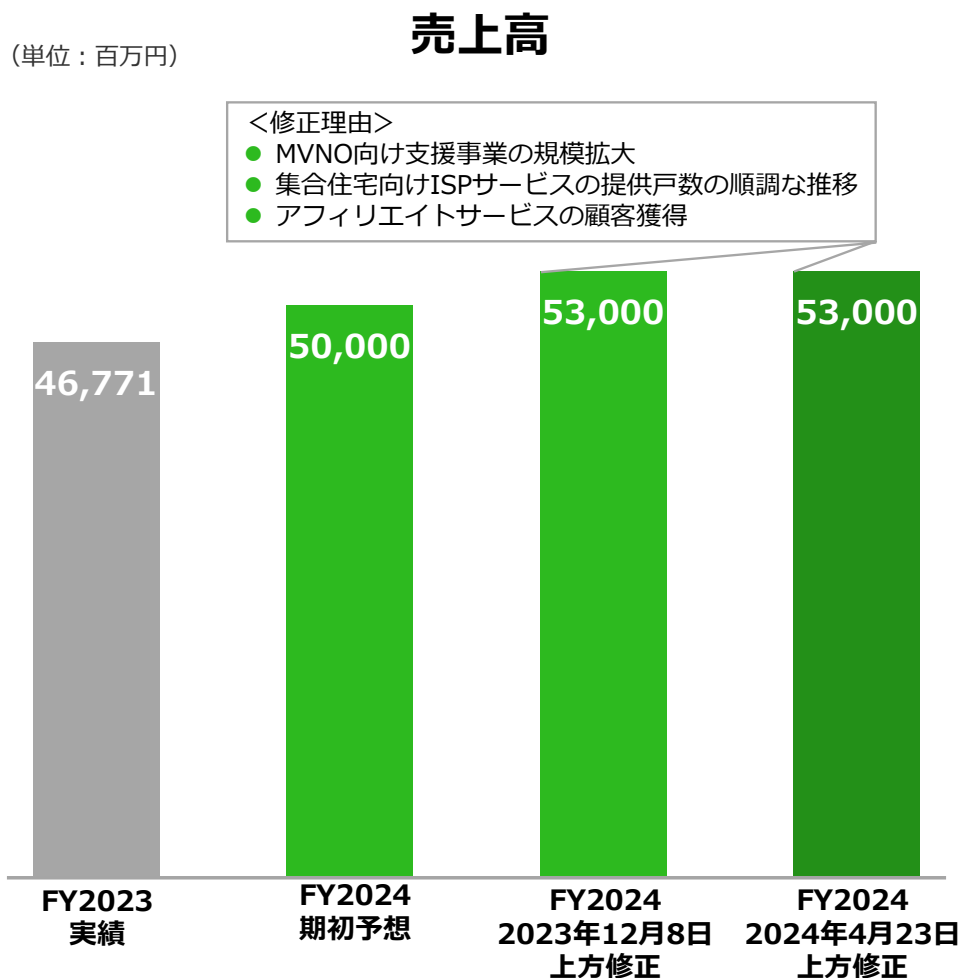
- ギガプライズグループ（GPG）は、決算日を3月31日から当社の連結決算日と同じ4月30日に変更いたしました。そのため、当連結会計年度における当該連結子会社は、2023年4月1日から2024年4月30日までの13ヶ月を連結対象期間とした変則的な決算になっております。
- 本説明資料においては、「決算期変更影響含む値」と「決算期変更影響除外値」で説明いたします。

連結対象期間

		第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	(月)								
(前期) 23/04期	GPG	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
	当社	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
(当期) 24/04期	GPG	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4
	当社	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
(来期以降) 25/04期～	GPG	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	
	当社	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	

2024年4月期 通期連結業績予想の上方修正

中期経営計画『SiLK VISION 2024』 最終年度の業績目標 売上高500億円、
営業利益50億円を **売上高530億円、営業利益58.5億円** へと上方修正



2024年4月期 通期 連結業績サマリ

(単位：百万円)	23年4月期 通期	24年4月期 通期 (決算期変更影響含む値)			(参考) 24年4月期 通期 (決算期変更影響除外値) ※2		
		実績	増減額	増減率 (参考) ※1	実績	増減額	増減率
売上高	実績 46,771	53,037	+6,266	— (+13.4%)	51,306	+4,534	+9.7%
営業利益	実績 4,007	5,887	+1,880	— (+46.9%)	5,489	+1,482	+37.0%
	ベース利益 ※3 5,291	6,849	+1,558	(+29.4%)	6,451	+1,160	+21.9%
経常利益	実績 3,707	5,756	+2,049	— (+55.3%)	5,360	+1,653	+44.6%
	ベース利益 4,991	6,718	+1,727	(+34.6%)	6,323	+1,331	+26.7%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	実績 1,792	3,566	+1,773	— (+99.0%)	3,408	+1,616	+90.2%
1株当たり 当期純利益	実績 95円07銭	178円58銭	+83円51銭	—	170円70銭	+75円63銭	—

※1 P.4に記載の通り、GPGの決算期変更の影響があることから対前期比増減率は参考値となります。

※2 決算期変更影響除外値は、GPGの決算期変更の影響を除外した未監査の参考数値です。

※3 ベース利益は一時的な投資を除いた事業利益数値で、未監査の参考数値です。

2024年4月期 通期 トピックス

売上高



5Gインフラ
支援事業

フリービットのB2B2X (B/C)
モバイルサービスにおいて
規模拡大



5G生活様式
支援事業

ギガプライズの事業である
5G Homestyleの集合住宅向け
ISPサービスにおける
提供戸数の順調な増加



企業・クリエイター
5G DX支援事業

フルスピードグループの
アフィリエイトサービスでの
海外顧客をはじめとした
新規顧客獲得の進展



営業利益～親会社株主に
帰属する当期純利益

売上高の増加

+

5G生活様式支援事業、
企業・クリエイター
5G DX支援事業を
中心とした

利益改善効果により

営業利益 伸長

営業利益の伸長により

経常利益 伸長

経常利益の伸長により

親会社株主に
帰属する当期純利益
伸長



結果

全セグメントが好調に推移

売上高

前期比

+13.4 %

決算期変更
影響除外値^{※1}

+9.7 %

営業利益

前期比

+46.9 %

ベース比^{※2}

+29.4 %

決算期変更
影響除外値

+37.0 %

ベース比

+21.9 %

親会社株主に
帰属する
当期純利益

前期比

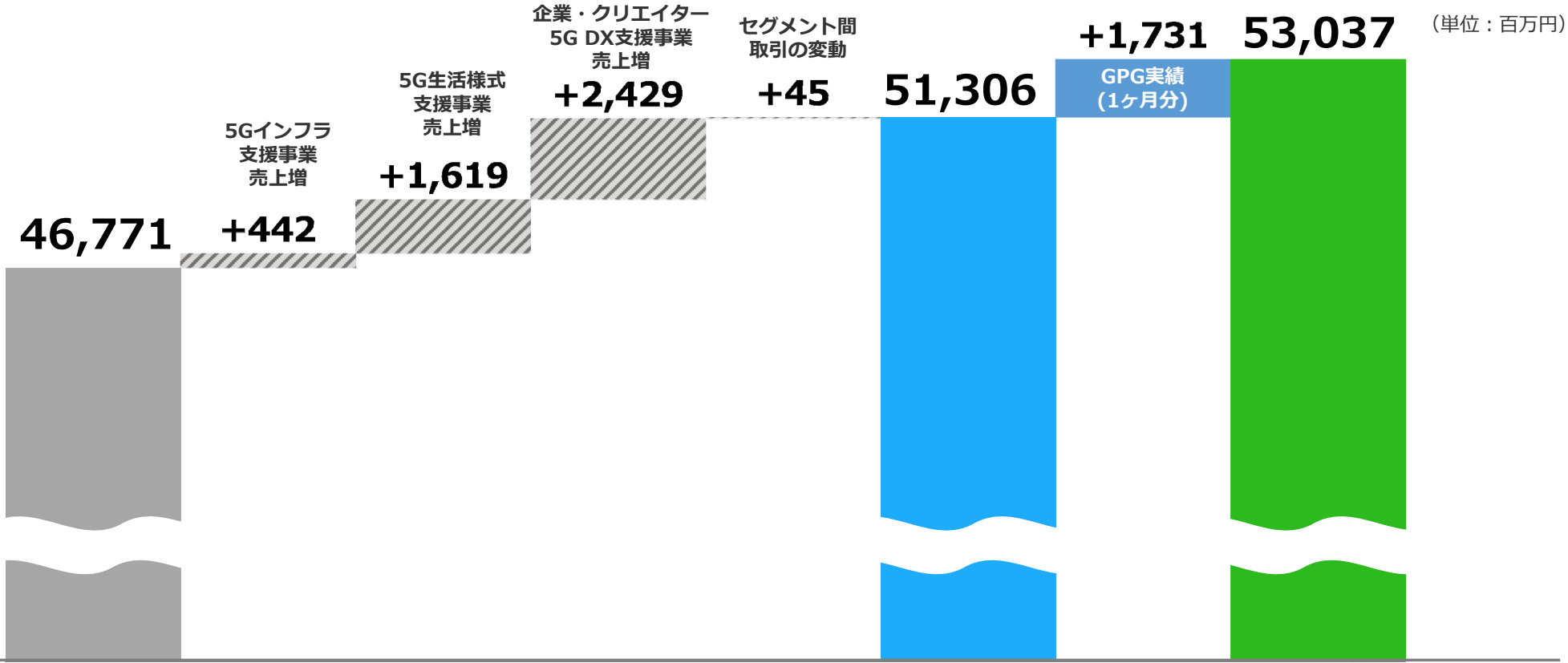
+99.0 %

決算期変更
影響除外値

+90.2 %

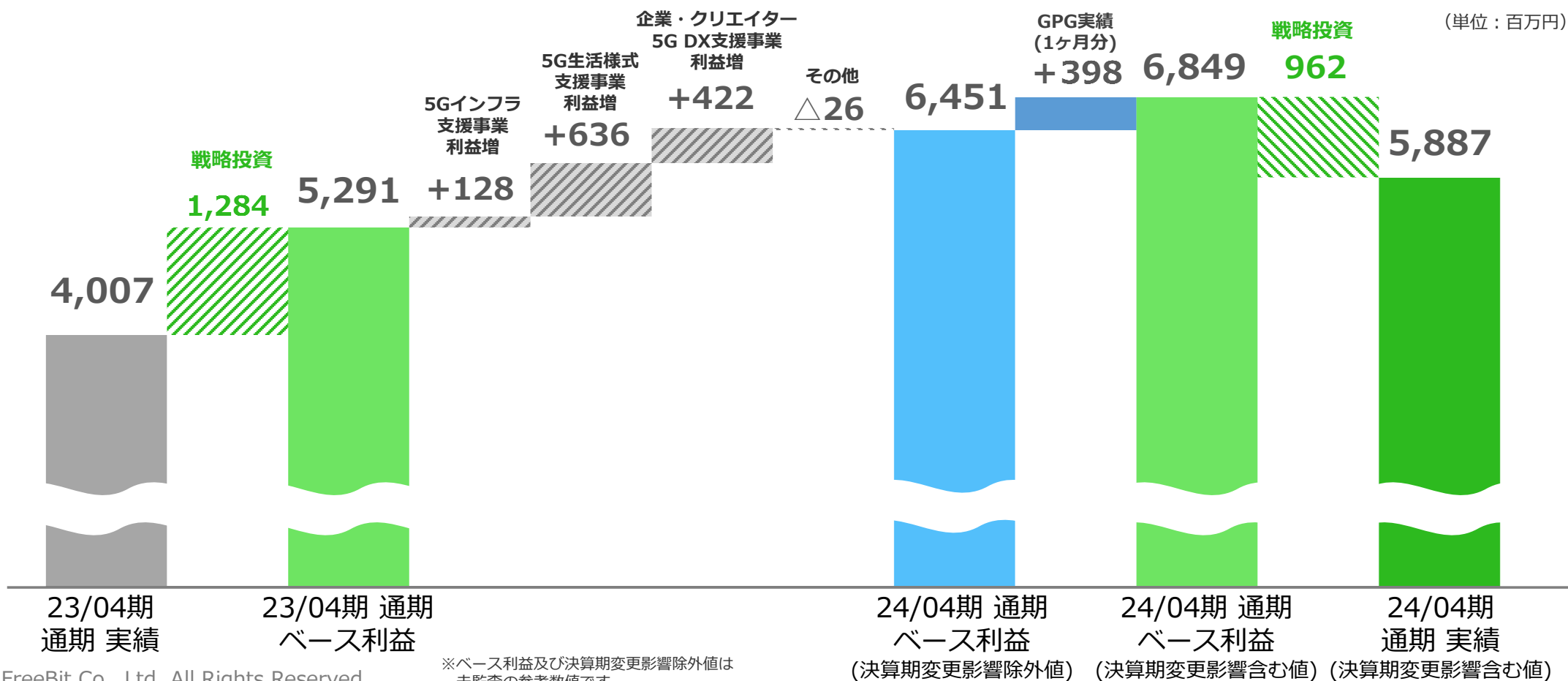
前期比差異分析 売上高

企業・クリエイター5G DX支援事業のアフィリエイト事業を中心に、
 全セグメントが堅調に推移し、前期比で実績13.4%増
 (決算期変更影響除外値：9.7%増)



前期比差異分析 営業利益

戦略投資を実行する一方で、5G生活様式支援事業を中心に全てのセグメントにおいて堅調に推移し、前期比で実績46.9%増、ベース利益29.4%増
 (決算期変更影響除外値：ベース利益21.9%増)



※ベース利益及び決算期変更影響除外値は未監査の参考数値です。

2023年4月期と2024年4月期の戦略投資内訳

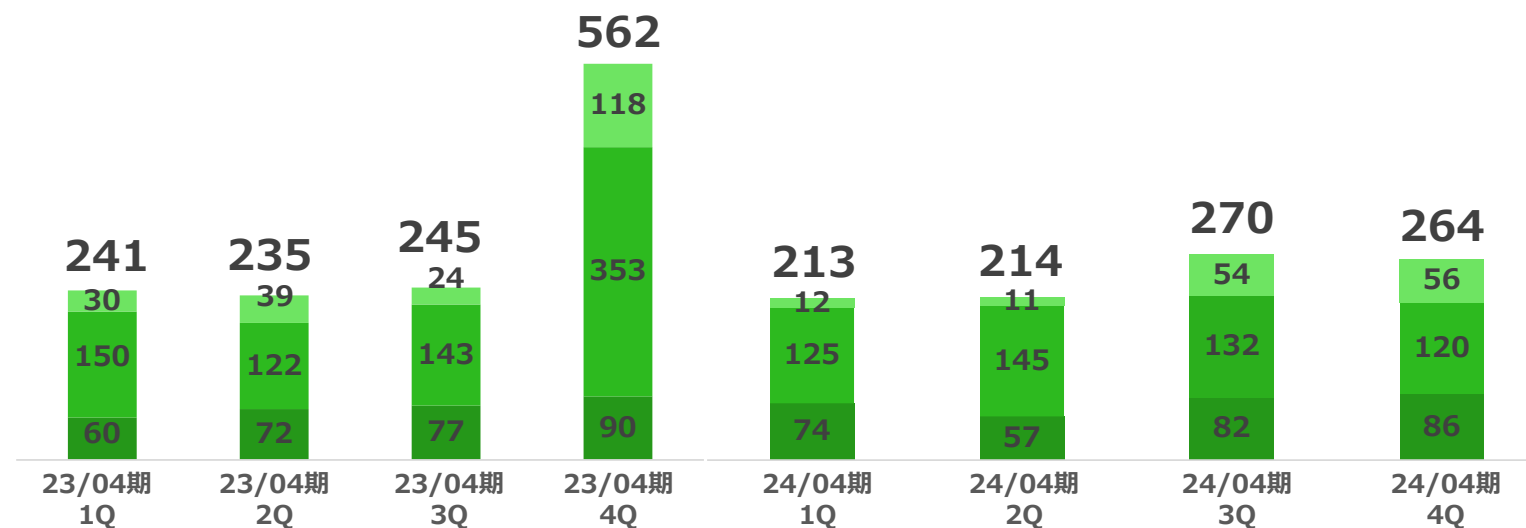
5G生活様式支援事業の「TONE」及び「TONE Labo」ユーザーの獲得、インキュベーションゾーンの事業推進をはじめとした戦略投資を継続的に実施

- 5Gインフラ支援事業
- 5G生活様式支援事業
- 企業・クリエイター 5G DX支援事業

(単位：百万円)

2023年4月期
総額 12.8億円

2024年4月期
総額9.6億円



2024年4月期 通期 戦略投資実績

5Gインフラ支援事業(301百万円)

- ・ 5Gデータセンター整備
- ・ データ連携プロジェクト 等

5G生活様式支援事業(524百万円)

- ・ 「TONE」「TONE Labo」ユーザーの獲得 (前期より継続的に実行しつつ獲得コストのコントロールにより減少傾向)
- ・ TONE Open化施策
- ・ 5G Healthstyle領域「TONE Care」の開発及び実証実験
- ・ web3(Blockchain)関係の開発及びテスト実施
- ・ 「LIVING TOWN みなとみらい」プロジェクト関連費用 等

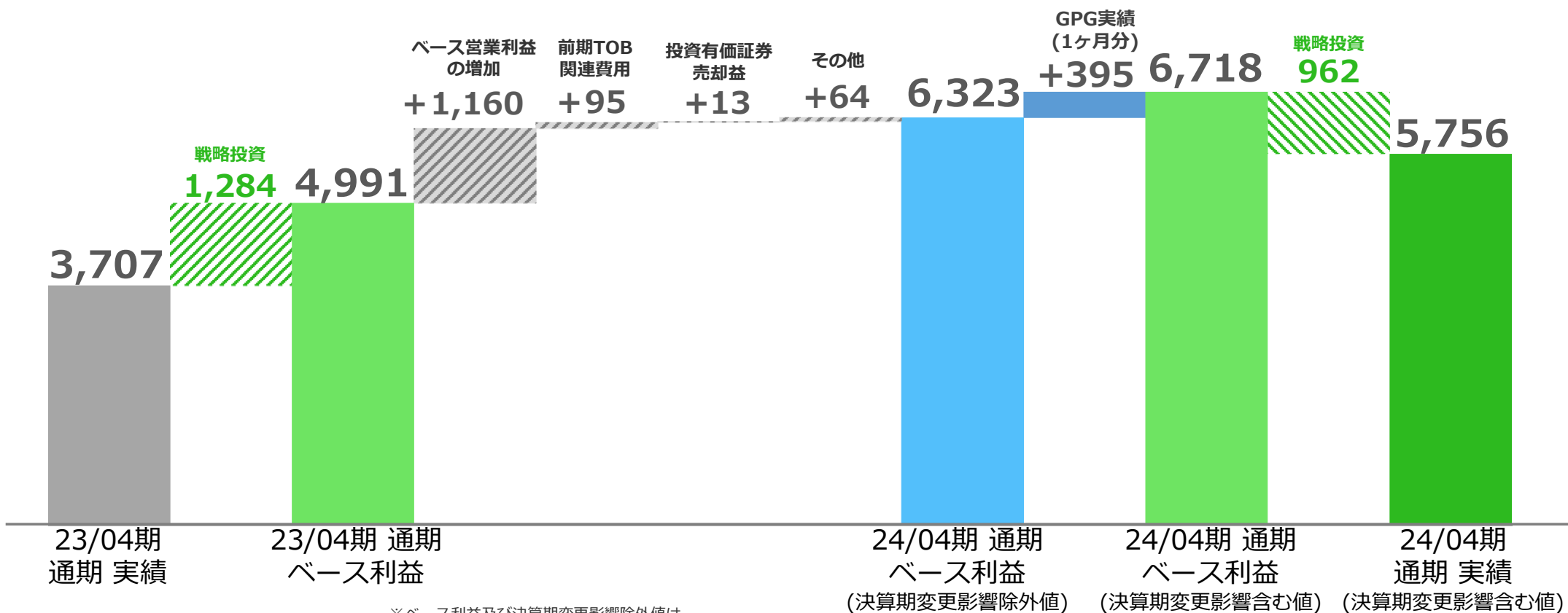
企業・クリエイター5G DX支援事業(136百万円)

- ・ Creator Maker領域「StandAlone」プラットフォームの多面展開

前期比差異分析 経常利益

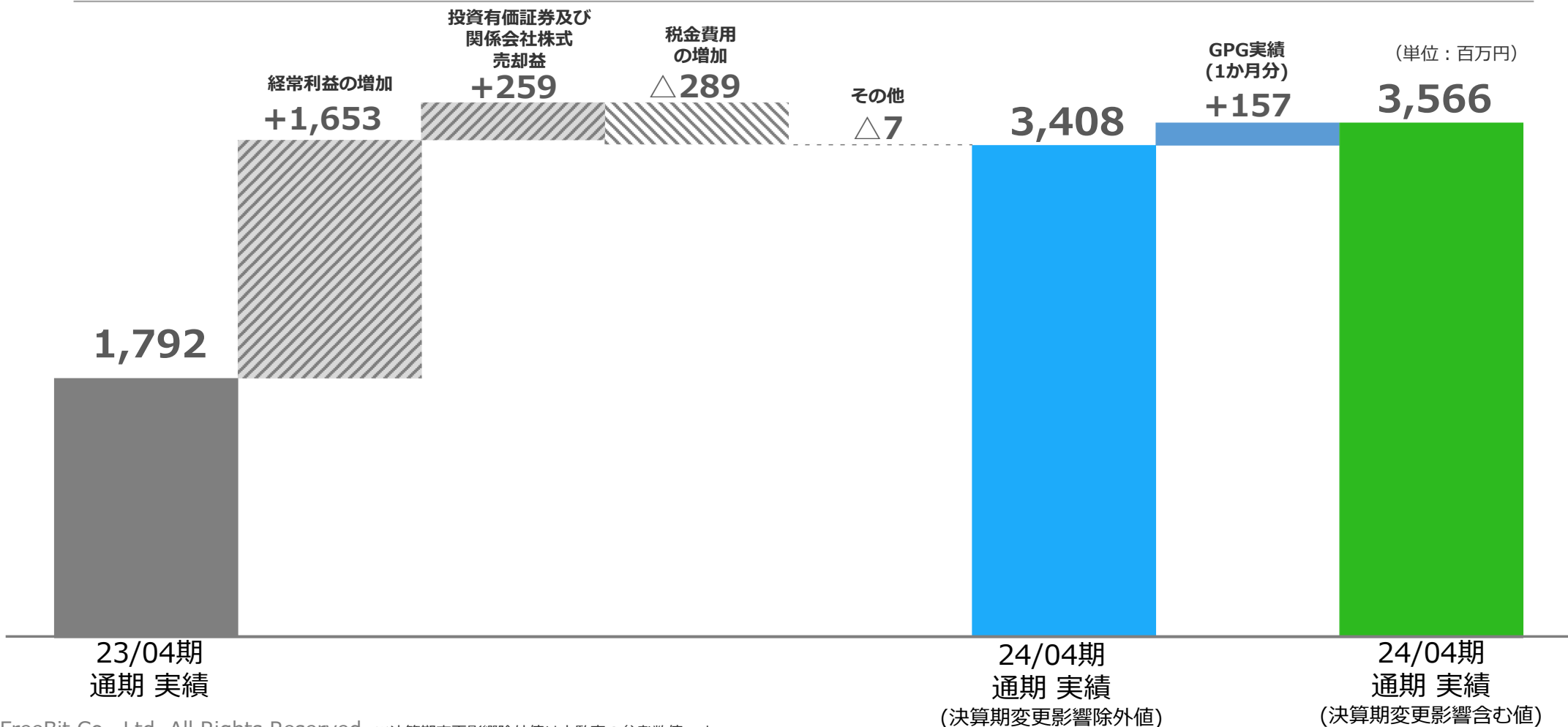
ベース利益の好調な推移により、前期比で実績55.3%増、ベース利益34.6%増
 (決算期変更影響除外値：ベース利益26.7%増)

(単位：百万円)



前期比差異分析 親会社株主に帰属する当期純利益

前期比で実績99.0%増（決算期変更影響除外値：90.2%増）
 投資有価証券及び関係会社株式の売却益や繰延税金資産の計上による一時的要因あり

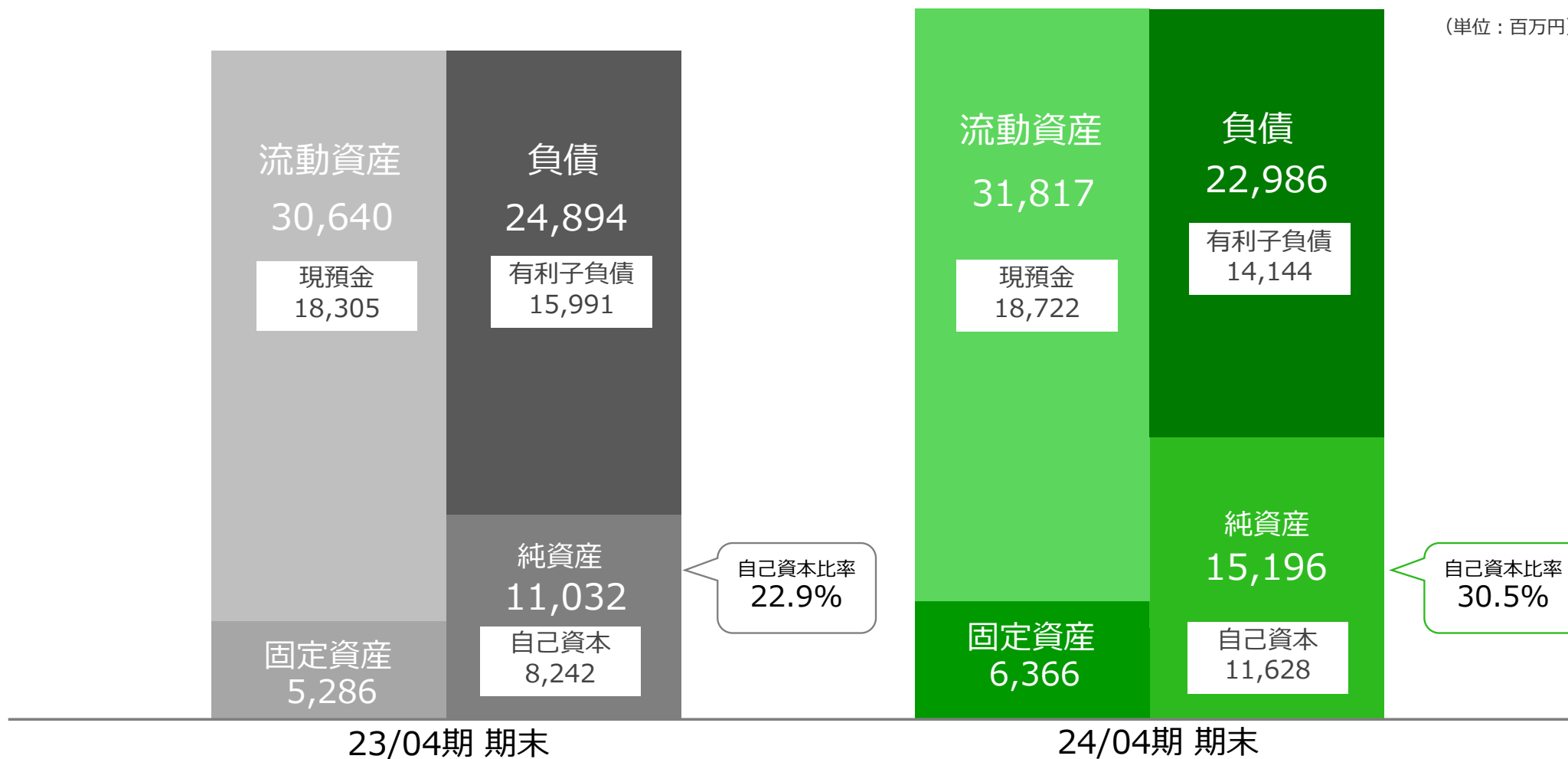


FreeBit Co., Ltd. All Rights Reserved. ※決算期変更影響除外値は未監査の参考数値です。

連結業績サマリ BS比較

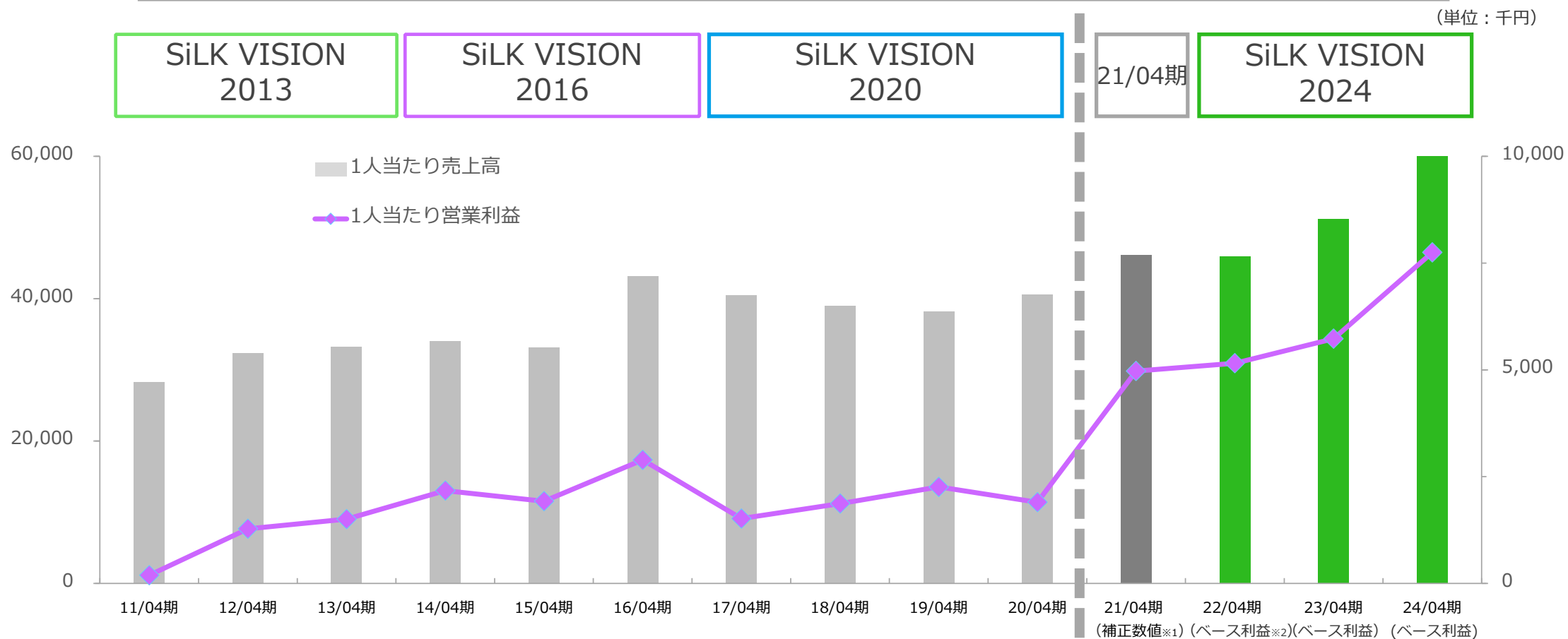
業績の堅調な進捗による利益剰余金の増加及び有利子負債の圧縮等により
自己資本比率が30.5%に増加

(単位：百万円)



1人当たり売上高・営業利益

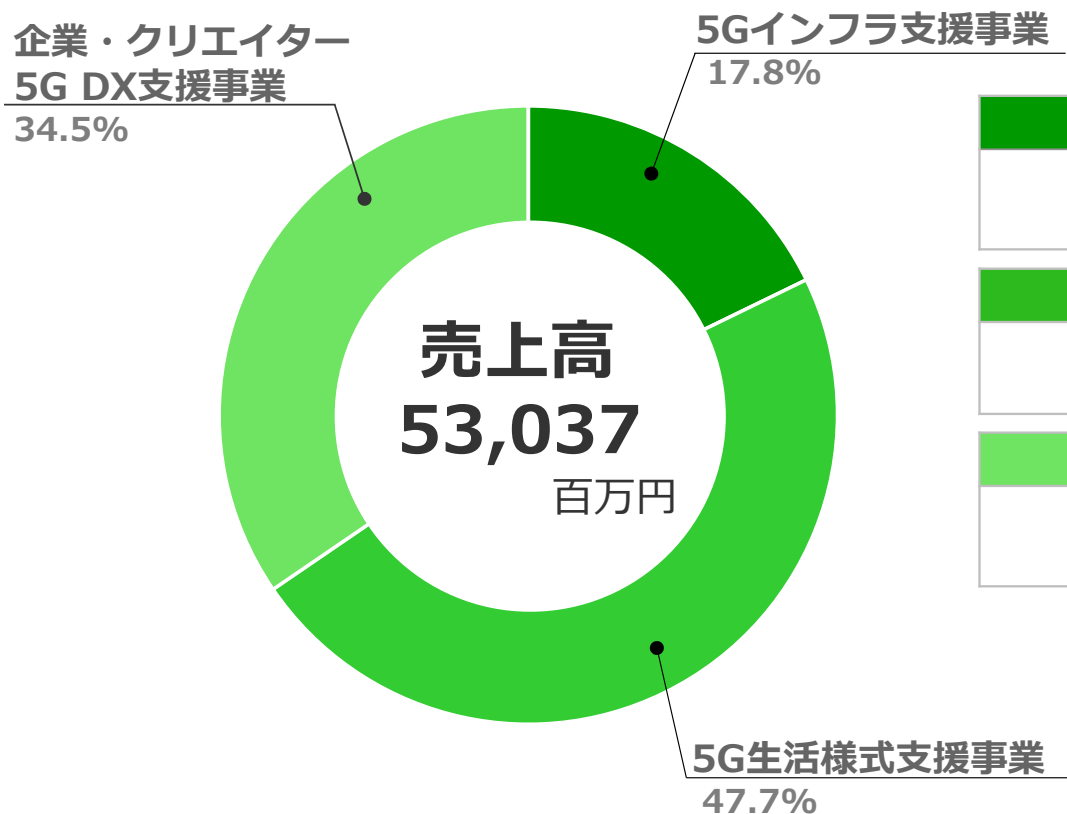
1人当たりの売上高・営業利益（ベース利益）は前期を上回り着地



※ 1 補正数値は、収益認識に関する会計基準、オフバランスした事業、戦略投資及びDTI決算期変更の影響額を除外した、未監査の参考数値です。
 ※ 2 ベース利益は未監査の参考数値です。

2. 2024年4月期 通期セグメント別業績

5Gインフラ支援事業、5G生活様式支援事業、企業・クリエイター5G DX支援事業 全てのセグメントにおいて増収増益



売上高		セグメント損益	
5Gインフラ支援事業			
実績	9,932 百万円	実績	1,506 百万円
	YoY +4.7%		YoY +9.3% (実績比) / +7.6% (ベース比)
5G生活様式支援事業			
実績	26,612 百万円	実績	3,319 百万円
	YoY +14.4%		YoY +62.8% (実績比) / +36.8% (ベース比)
企業・クリエイター5G DX支援事業			
実績	19,278 百万円	実績	1,104 百万円
	YoY +14.4%		YoY +82.7% (実績比) / +51.6% (ベース比)

【業績進捗】 5Gインフラ支援事業（モバイル革命領域）

SILK VISION 2020

SILK VISION 2024

SILK VISION 2027

SILK VISION 2030

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

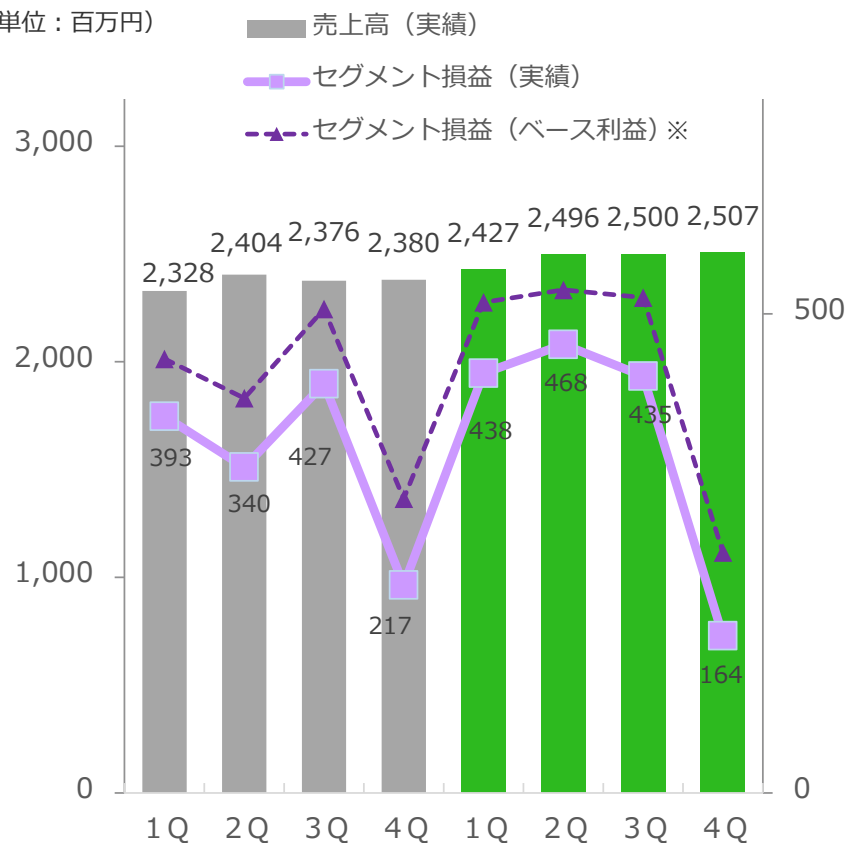
既存事業のほとんどは
パフォーマンスゾーンにシフト
5GやeSIM対応等の時代の変化を
取り入れながら継続成長

5Gインフラ支援事業 業績進捗

**B2B2X(B/C)固定網のサービス利用減や人件費増等があったものの、
B2B2X(B/C)モバイルのサービス利用増により前期比7.6%の利益増 (ベース比)**

売上高・セグメント損益

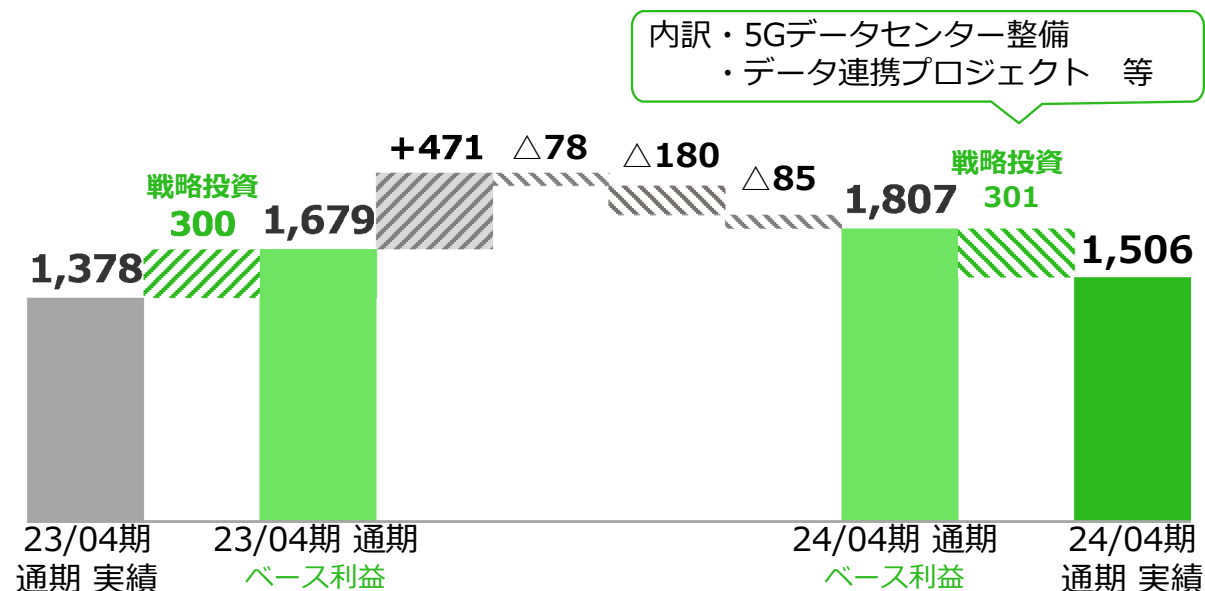
(単位：百万円)



セグメント損益前期比差異分析

(単位：百万円)

- +471** B2B2X(B/C)モバイル: サービス利用増による利益増
- △78** B2B2X(B/C)固定網 : サービス利用減による利益減
- △180** 人材強化による人件費増
- △85** その他



5Gインフラ支援事業 業績進捗



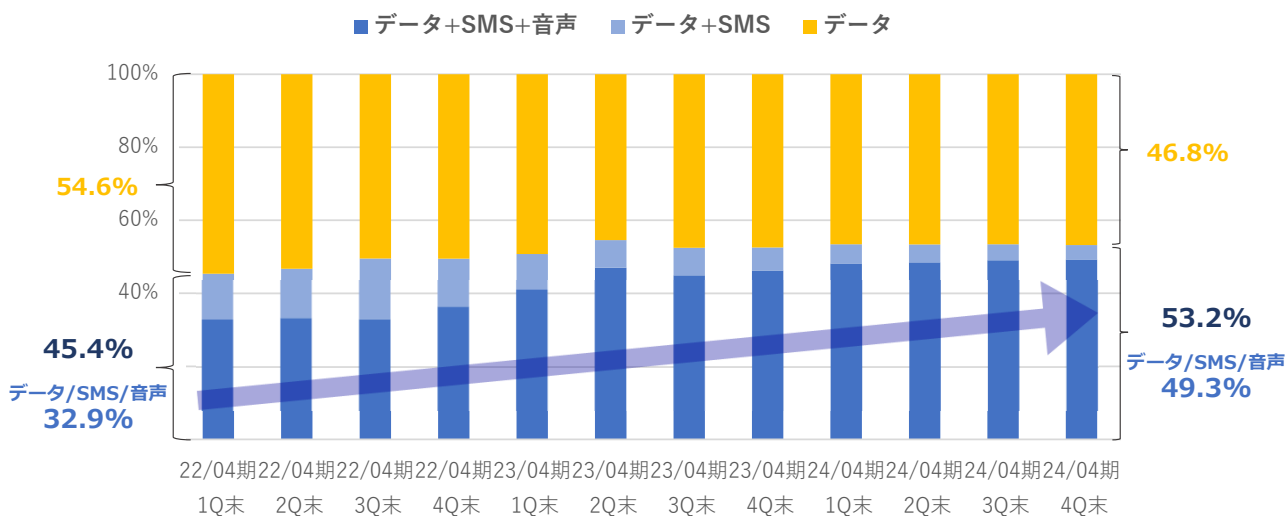
回線、ネットワークインフラ、各種管理ツール、ユーザサポート、物流システム、SIM発行センターなどをパッケージ化し、MVNO事業者が自社ブランドのモバイル通信サービスを独自プランでエンドユーザーへの提供するための、MVNO支援サービス



固定IPアドレスを使って、外出先から簡単・高セキュリティに社内サーバーにアクセスできる「契約プロバイダ/通信環境」に依存しない、どこにでも持ち出し可能な固定IPアドレスサービス

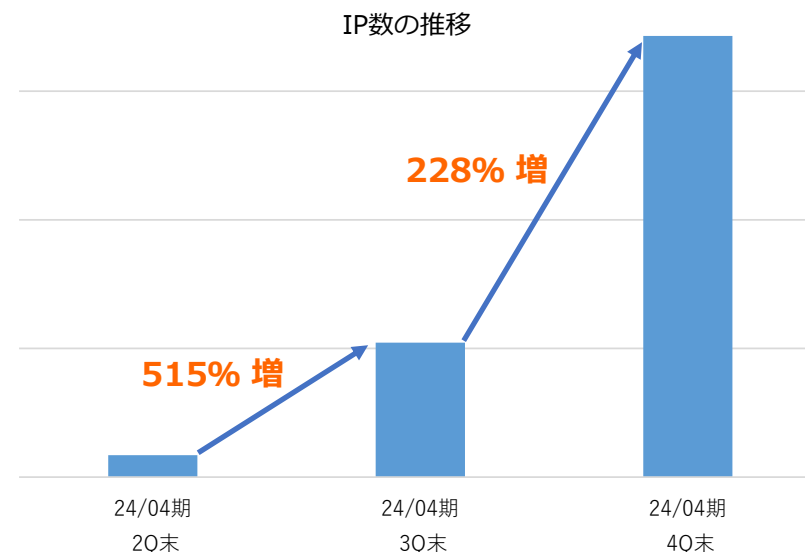
■ 販売SIMの構成比推移

より付加価値が高い「データ+SMS+音声」の販売数を伸ばし売上に貢献



■ 提供IP数の推移

2023年9月のサービスインから300社超の契約を獲得し、順調に提供数が増加



【業績進捗】 5G生活様式支援事業（生活革命領域）

SILK VISION 2020

SILK VISION 2024

SILK VISION 2027

SILK VISION 2030

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

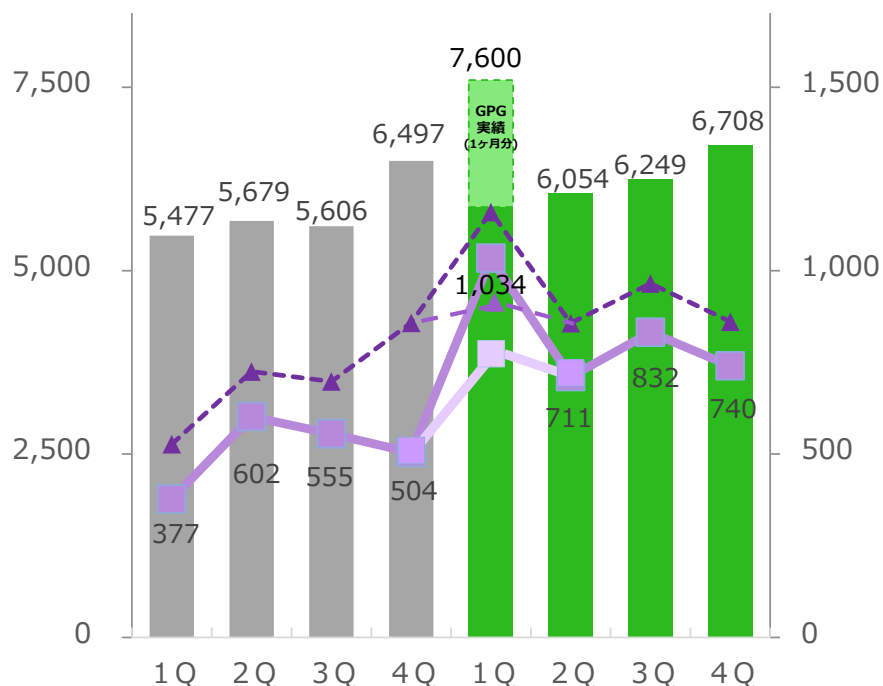
既存事業のほとんどは
パフォーマンスゾーンにシフト
5GやeSIM対応等の時代の変化を
取り入れながら継続成長

5G Homestyleの順調な推移や、TONE事業の利益改善により 前期比36.8%の利益増 (ベース比) (決算期変更影響除外値：ベース比22.7%増)

売上高・セグメント損益

- 売上高 (実績)
- セグメント損益 (実績/決算期変更影響含む値)
- セグメント損益 (実績/決算期変更影響除外値) ※
- セグメント損益 (ベース利益/決算期変更影響含む値) ※
- セグメント損益 (ベース利益/決算期変更影響除外値) ※

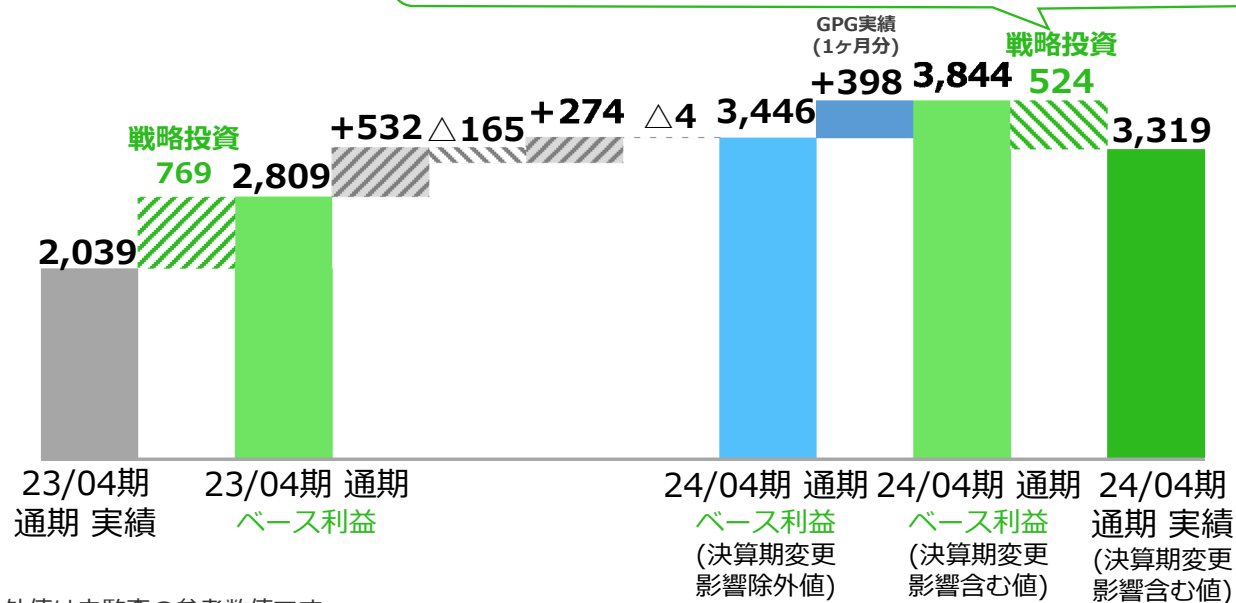
(単位：百万円)



セグメント損益前期比差異分析

- +532 5G Homestyle (GPG) の売上増による利益増 (単位：百万円)
- △165 5G Lifestyle (DTI) の固定網サービス利用減による利益減
- +274 TONE事業の利益改善 (前期発生の新端末発売の一時費用減及び店舗展開費用の圧縮)
- △4 その他

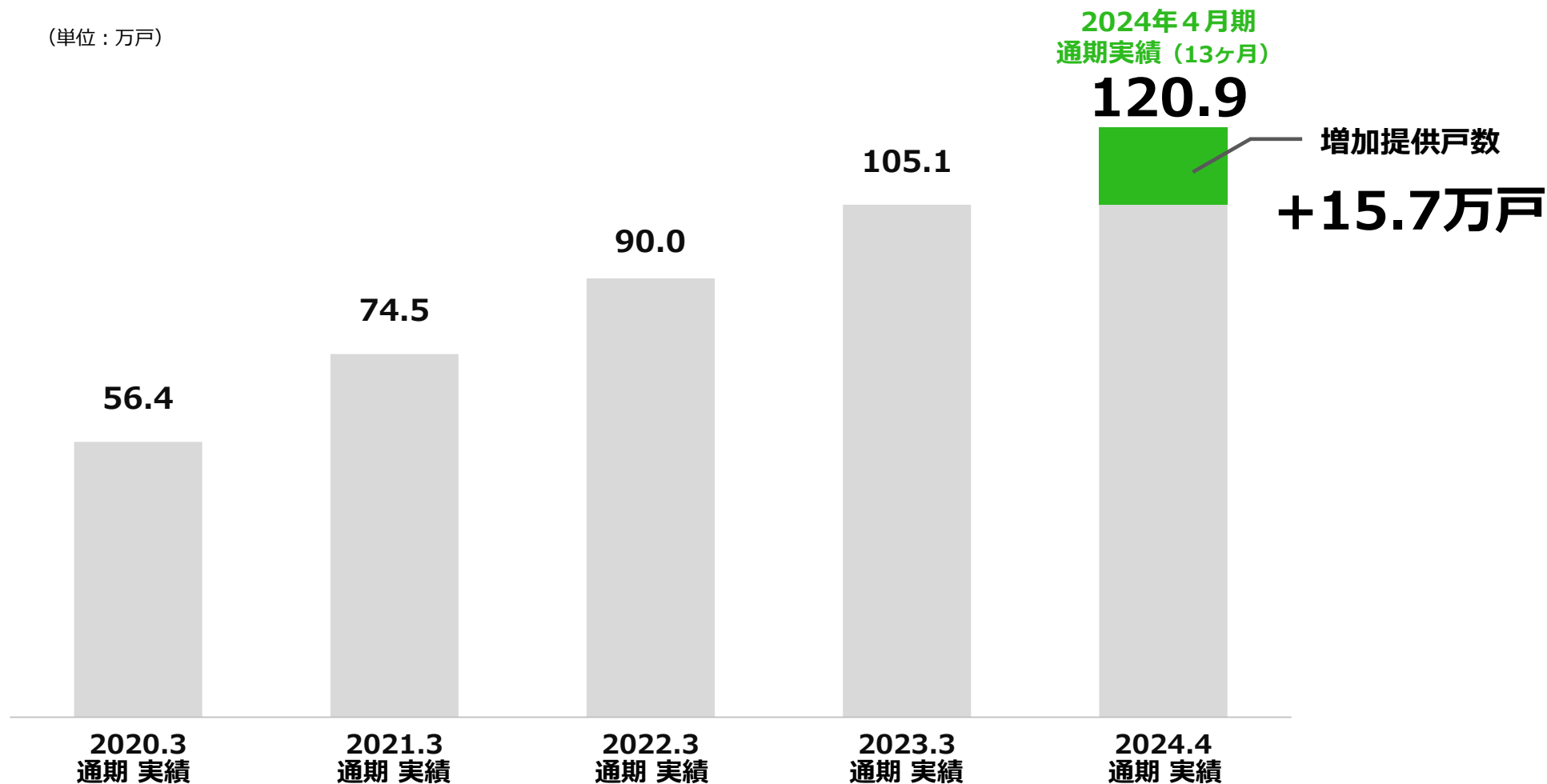
内訳・「TONE」「TONE Labo」ユーザーの獲得 / TONE Open化施策
 ・5G Healthstyle領域「TONE Care」の開発及び実証実験
 ・web3 (Blockchain) 関係の開発及びテストの実施
 ・「LIVING TOWN みなとみらい」プロジェクト関連費用



FreeBit Co., Ltd. All Rights Reserved. ※ベース利益及び決算期変更影響除外値は未監査の参考数値です。

5G Homestyle (GPG) の重要指標である集合住宅向けISPサービスの提供戸数は前期末比で15.7万戸増の累計120.9万戸と順調に推移

(単位：万戸)



新規プロダクトの開発、集合住宅向けISPサービスのノウハウを活用した 既存市場への横展開や新規市場の開拓を進め、5G/web3時代の生活様式を支援

 5G Homestyle領域の戦略イメージ



集合住宅向けISPサービスを軸に様々なソリューションを提供、 物件価値向上と快適で豊かなくらしの実現に貢献



大東建託株式会社と共同開発した、暮らしを豊かにする高付加価値賃貸住宅が練馬区に完成

本住宅は、**最大通信速度10Gbps※**のインターネット接続サービスやクラウド型防犯カメラなど、ギガプライズの様々なソリューションサービスを導入した、大東建託社独自のCLT工法による木造3階建て賃貸住宅（間取り：シングル向け1Kタイプ8戸で構成）



ギガプライズは、今後も課題やニーズに合わせたソリューションサービスの開発や改善に取り組み、物件価値向上と快適で豊かなくらしの実現に貢献していく

2つの未来対応型
インターネット接続サービス



クラウド型防犯カメラ



スマートポール



※ 最大通信速度は、技術規格上の最大値であり、実使用速度を示すものではありません。インターネットご利用の速度は、ご利用環境や回線混雑状況などにより低下する場合があります。

パートナー企業との協業により入居者の利便性・満足度の向上に貢献
引き続き、競争優位性を生み出す新たなサービスの創出を図る



ギガプライズ、EV充電インフラ事業を展開する Terra Charge株式会社と業務提携

- ギガプライズはEV充電インフラ事業「テラチャージ」を展開する Terra Charge社と業務提携を開始
- 本業務提携で、**駐車場を併設する集合住宅の管理会社やオーナーに対して、充電インフラ「テラチャージ」を提案し**、Terra Charge社が導入から保守サポートまでを行うことで、**物件価値の向上と集合住宅におけるEV充電インフラの拡充**を図り、EVを所有する**入居者の利便性・満足度の向上**に貢献していく



今後も、パートナー企業との協業により
競争優位性を生み出す新たなサービスを創出し、
持続的成長と企業価値の向上を目指す

Terra Charge GIGA PRIZE 

充電インフラ「テラチャージ」



5G×web3×AI×IoTの技術を垂直統合し、住宅・仕事・モビリティ領域での体験型、研究型両面の検証を開始し、“社会実装”を推進させる



“暮らしのアップデートをお手伝いする複合施設”「LIVINGTOWN みなとみらい」において、フリービットグループ、アルプスアルパイン社、NECネットエスアイ社が参加する5G/web3の“社会実装”実験「LIVE! LIVINGTOWN」を2025年4月期第1四半期よりスタート



フリービットグループ、アルプスアルパイン株式会社、NECネットエスアイ株式会社で技術連携





施設内にLocal 5G SA環境を構築し、各所に設置するIoT機器等を通して、住宅、仕事、モビリティ分野における、スマートホームやスマートタウンを実感できる体験型の検証「LIVE! LIVINGTOWN」をスタートする



「LIVINGTOWN みなとみらい」における 5G SA環境

他事業などの実証実験を希望する機関や事業者にも提供し、包括的で幅広い分野での課題やニーズに応じたセキュアで安定的な5G/web3ソリューションを提供していく

各機関の役割

 毎日、発明する会社	<ul style="list-style-type: none"> 「LIVE!」の全体コーディネート 5G等の次世代通信の技術開発 スマートフォン上で動作するEthereum(EVM)互換レイヤ1ブロックチェーン「TONE Chain」、スマートフォン上で動作する「freebit Edge LLM」等のweb3技術の提供
	<ul style="list-style-type: none"> 車載向けで培った環境耐性、高堅牢性、静粛性が高く、設置の自由度も多様なデバイス技術やセンサ技術の提供 Local 5Gを上流としたWi-Fi環境の提供を可能にする独自CPEの提供
	<ul style="list-style-type: none"> 「LIVINGTOWN みなとみらい」を通じてスマートホームやスマートタウンの実現に向けた検証や体験の場を提供
 NECネットエスアイ	<ul style="list-style-type: none"> Local 5G環境の構築

【業績進捗】 企業・クリエイター5G DX支援事業（生産革命領域）

SILK VISION 2020

SILK VISION 2024

SILK VISION 2027

SILK VISION 2030

インキュベーションゾーン

トランスフォーメーションゾーン

パフォーマンスゾーン

- インフラテック事業 (freebit, DTI)
- アドテック事業 (FullSpeed)
- 不動産テック事業 (GIGA PRIZE)

- 5G Infra Platform (MVNE、固定網、クラウド等)
- 5G Homestyle (集合住宅インターネット)
- インターネットマーケティング
- アフィリエイト
- Maker's Maker

企業・クリエイター5G DX支援事業

Creator Maker (StandAlone)
Bizmodel Maker (4.0)

5G生活様式支援事業

5G Workstyle / 5G Healthstyle/
5G Carlifestyle (MaaS)

5G生活様式支援事業

5G Lifestyle (TONE/DTI)
5G Homestyle

5Gインフラ支援事業

既存事業のほとんどは
パフォーマンスゾーンにシフト
5GやeSIM対応等の時代の変化を
取り入れながら継続成長

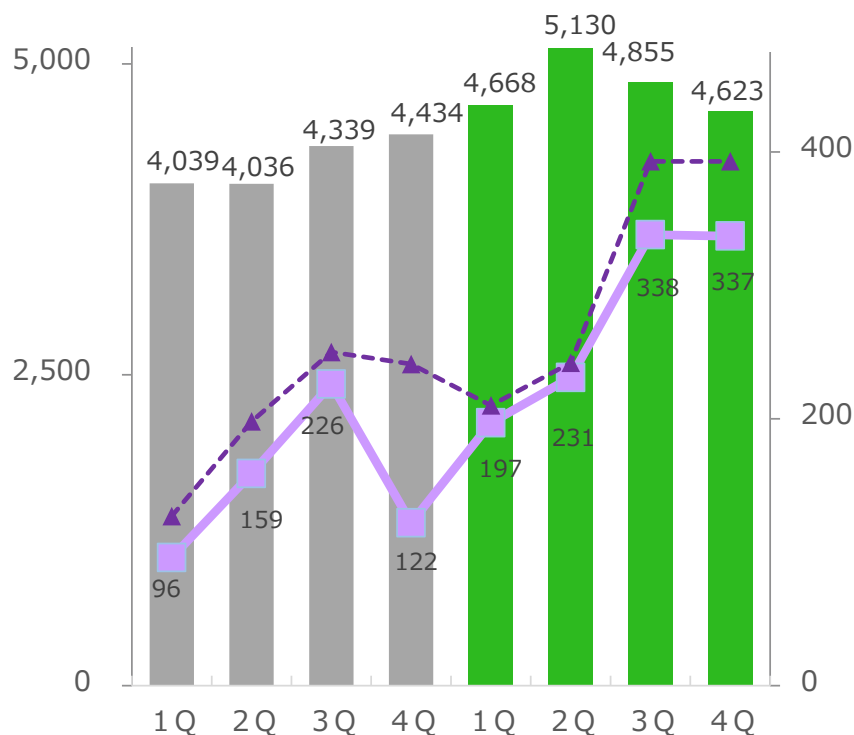
アフィリエイト事業を中心とした売上高の堅調な推移に加え、 各種利益改善効果等が奏功し、前期比51.6%の利益増（ベース比）

売上高・セグメント損益

セグメント損益前期比差異分析

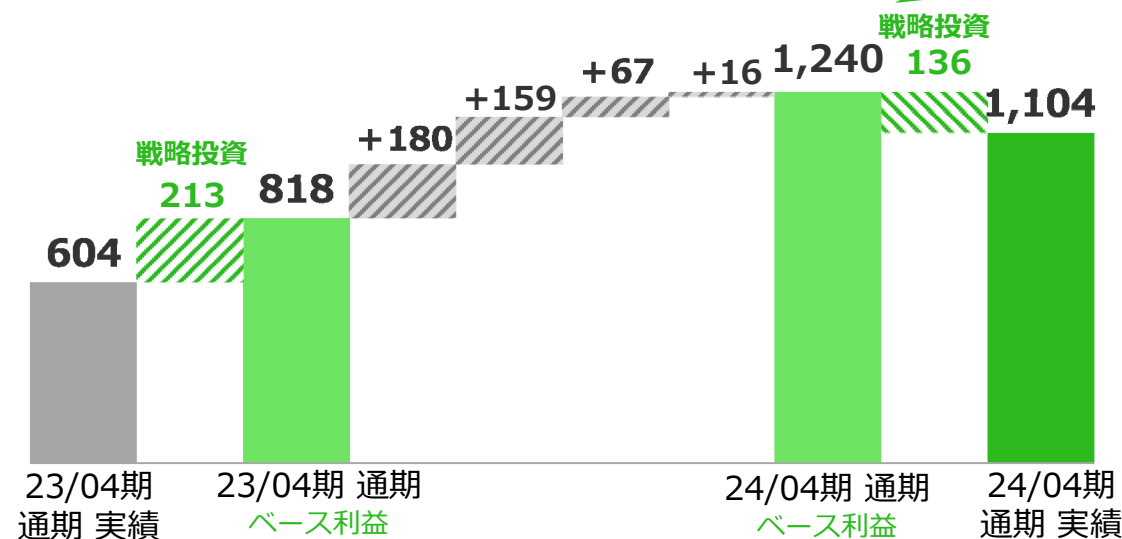
(単位：百万円)

- 売上高（実績）
- セグメント損益（実績）
- ▲ セグメント損益（ベース利益）※



- +180** 注カジャンルの強化及び海外顧客をはじめとした新規顧客獲得によるアフィリエイト事業での粗利増
- +159** グループ内リソース最適化による原価率低減での粗利増
- +67** 広告効率の改善による利益増
- +16** その他

内訳・「StandAlone」プラットフォームの多面展開



StandAloneで新規アーティストのサービス展開が進捗 5G/web3時代におけるファンコミュニティ形成の拡大を目指す

■展開中のStandAlone一覧



坂口健太郎
info.s



赤楚衛二
EAWD



山本舞香
MK.ZeRo
(リリース予定)

Play.Goose
P.G@STAND ALONE



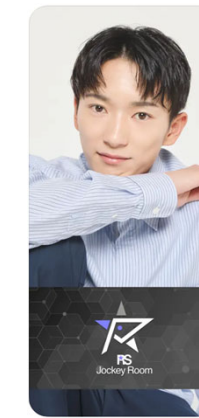
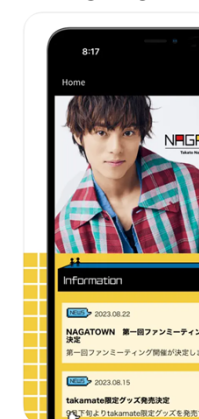
椋島光
ひかりだより

窪塚愛流
AiRu



池添謙一
TEAM KEN.1

永田崇人
NAGATOWN



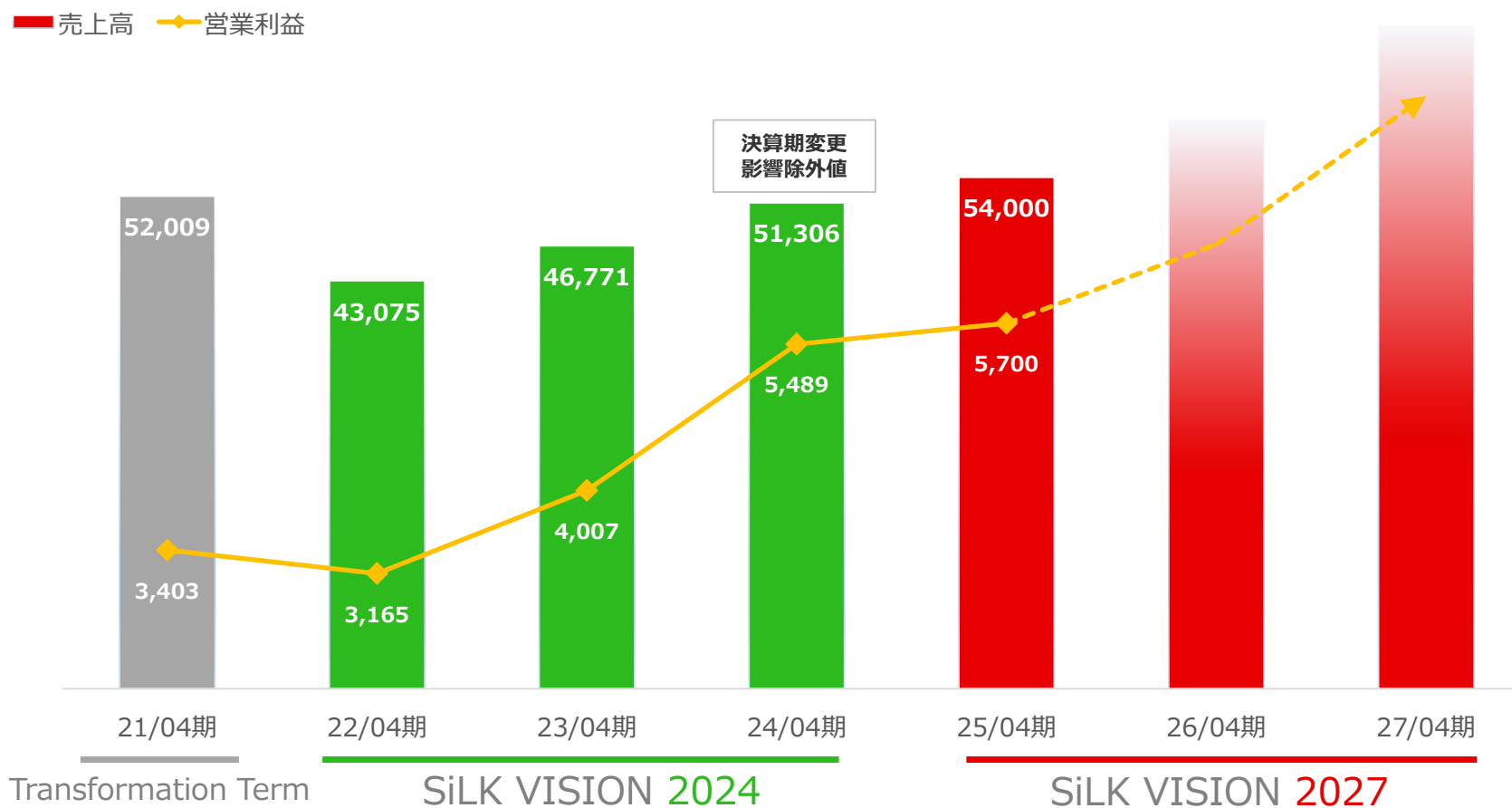
坂井瑠星
RS Jockey Room

3. 2025年4月期 通期連結業績予想

2025年4月期 通期連結業績予想

2021年から2030年にかけての10カ年計画のうち、 第2弾となる『SiLK VISION 2027』では更なる成長を図る

(単位：百万円)



2025年4月期 通期連結業績予想

(単位：百万円)	24年04月期	24年04月期	25年04月期	
	実績 (決算期変更影響含む値)	実績 (a) (決算期変更影響除外値)	業績予想 (b)	増減率 (b÷a-1)
売上高	53,037	51,306	54,000	— (+5.3%)
営業利益	5,887	5,489	5,700	— (+3.8%)
経常利益	5,756	5,360	5,500	— (+2.6%)
親会社株主に帰属 する当期純利益	3,566	3,408	3,000	— (△12.0%)

・投資有価証券及び関係会社株式の売却益
 ・繰延税金資産の計上
合計4.5億円（概算値）の一時要因を含む

- 中期経営計画『SiLK VISION 2027』の初年度となる2025年4月期においては、**パフォーマンスゾーンの継続的成長**を図りつつ、トランスフォーメーションゾーン、インキュベーションゾーンの**5G/web3領域における事業の“社会実装”を推進**
- 継続的成長及び成長基盤の強化を企図した**投資（データセンター移設及びモバイルネットワーク設備の更改造等）を実施**しつつ、急速な技術革新などの変化に対応すべく、M&Aや業務提携を通じて**戦略的ポートフォリオの拡充**を図ることで、グループ全体の競争優位性を高める

本資料に記載されている当社の予想、見通し、目標、計画、戦略等の将来に関する記述は、本資料作成の時点で当社が合理的であると判断する情報に基づき、一定の前提（仮定）を用いており、種々の要因により、実際の業績はこれらの予想・目標等と大きく異なる可能性があります。本資料は、当社の事業戦略の説明資料であり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

＜IR及び本資料に関するお問い合わせ＞

フリービット株式会社
グループ経営企画本部 IR担当
Email freebit-ir@freebit.net
WEB <https://freebit.com/>

4. Appendix

3つの革命領域と各事業の説明

モバイル革命領域

環境問題、高齢化社会、低成長等の様々な社会問題を解決して持続可能な社会を実現するために、人々の生活の効率化と知の生産革命の基盤となるインフラを提供する領域

5Gインフラ支援事業

5GとeSIM(SIMのソフトウェア化)/ AI / Blockchainにより「ヒト」だけでなく膨大な「モノ」を安心・安価にConnectedな状態とすることで、その先につながる「コト(消費)」市場の創出までを支援するプラットフォームを提供する事業

市場の可能性

国内産業向け5G関連市場は2,106億円、IoT市場は10.2兆円※という巨大市場の創出が見込まれる。その市場を視野に入れ、安定かつ安心・安全な通信インフラサービスの継続的な提供を行いつつ、5G時代に対応する次世代ネットワークやデータセンターを構築し、5GやeSIMを活用した新サービスの展開を目指す。

生活革命領域

持続可能な社会への移行のためには人々の働き方、学び方、生活の仕方が変わることとなるが、そのために必要な社会問題を解決し、新しい社会と価値を創造する領域

5G生活様式支援事業

5Gインフラ支援事業によって生み出されるプラットフォームを活用し、5G時代ならではの「安心安全な生活」「健康」「働き方」「住まい」等の様々な「コト」市場の創造を支援する事業プラットフォームを構築・提供する事業

市場の可能性

新型コロナにより人々の欲求は、マズローの5段階説の「安全欲求」まで下がったが、社会経済活動の制限緩和を背景に、徐々に高次の欲求(=コト消費)が復活。生活へのITの浸透が5Gで加速することも「モノ→サービス→コト」というより高次の市場創出に寄与する。

生産革命領域

社会問題の解決のために、膨大な知識の中から適切な知識を動員するための「知の構造化」を行い、それによる「知の生産革命」によってイノベーションを起こす領域

企業・クリエイター5G DX支援事業

5G時代のモノづくりを、企業だけでなく、今後のモノづくりの中心となるクリエイターやインフルエンサーに寄り添って、「(市場創出)→価値創造→検証→市場投入→顧客関係維持」までを可能とするプラットフォーム構築を、独自のDX手法により支援する事業

市場の可能性

『マーケティング4.0』では、クリエイターやインフルエンサーが単純にモノやサービスを勧めるのではなく、それらを利用した結果、どのような自分になれるのかまでを提案する。つまり、マズローの「自己実現欲求」(=コト消費)を満たす市場が求められる。